

# 地熱発電の観光地理学的研究

地域共創学部  
観光学科  
教授



田代 雅彦

## 研究シーズの紹介

観光は現在、わが国の主要産業として認識されており、とりわけ地方では観光による地域振興を目指す地域が増えていく。しかし、わが国では、古くから観光都市と言われてきたところを除いて、多くの地域が観光資源を経済的な利益や持続的な地域発展に、うまく結びつけられていない。

本研究は、地熱エネルギーという世界の中でも日本、とりわけ九州にポテンシャルがある再生可能エネルギーに着目し、地熱発電など地熱開発がどのように地域のビジネスやコンベンションを含む観光振興に結び付けられるかを明らかにする。



### 地熱発電

- 地熱エネルギーは、世界の中でも日本とりわけ九州に豊富に存在するエネルギーであり、観光資源として活かせる可能性がある。

## ～地熱発電で広がる九州の未来～

### 国際的な地熱ビジネスの拠点・九州

- 九州には、地熱コンサル、井戸掘削、蒸気タービンやバルブの製造など、地熱発電に関わる、ほぼ全ての業種の有力企業が集積
- 九州の企業群がチームを組めば、あらゆる規模・種類の地熱発電所の建設、地熱利用システムの開発が可能
- 九州から全国、世界に地熱ビジネスが拡大

### 世界の地熱学術センター・九州

- 九州大学は、日本一の規模と高いレベルを持つ、世界的にも有数の地熱研究の拠点
- 大規模及び中小の最新鋭の地熱発電所があれば「国際地熱研修」の復活も可能
- 世界の地熱エリートが九大に集散すれば、九州が地熱の国際学術ネットワーク拠点に



日本一の九州電力 八丁原地熱発電所

## 地熱の発電・利用の促進

### 火山・温泉+「地熱」の観光地・九州

- 火山や温泉は九州の大きな魅力、観光資源
- 大小様々な地熱発電、地熱利用システムができれば、従来の魅力に新しい魅力が付加
- 火山・温泉目的の観光旅行に加え、視察旅行や修学旅行、地熱関係のコンベンションや見本市など、海外客を含め九州旅行の幅が拡大

### 再生エネでアジアを牽引する・九州

- 明治維新後の近代化、戦後の復興で先駆となり日本全国、アジアに影響を与えた九州
- 九州は、地熱発電のほか太陽光、バイオマス、中小水力等でも高いポテンシャル
- 地熱発電をベースに、多様な再生エネの普及拡大でも九州が全国、アジアを牽引へ

優れたポテンシャルを活かして「地熱王国・九州」の実現を！

## 期待される活用シーン

- 世界の観光客は、新しい体験や知的好奇心を求めており、そうした観光資源を探す観光関連企業も多い



活火山、大規模カルデラ、温泉、地獄、地熱発電など地熱エネルギーを総合的に観て、学び、体験できる



- 世界の先進的な企業は、持続可能な社会づくりに貢献することを目指し、そうした地域への投資を考えている



原発事故を経験した日本で持続可能な地域となれば、世界の先進企業が投資先として注目



### その他の研究テーマ

自然観光資源と入場料収入に関する研究  
大正ロマン、昭和レトロの観光地に続く平成の観光資源に関する研究